



いちょうっ子

学校教育目標

強 くー自信をもって心身ともに鍛える子
正しくー深く考え、進んで学ぶ子
美しくー思いやりがあり、感動する子

明けましておめでとうございます ～令和二年 よき年となりますように～

校長 吉野徳子

～切磋琢磨 (せつさたくま) 仲間同士励まし合って磨き高める心～

旧年中は、保護者並びに地域の皆様方には、本校の教育活動に多くの御支援御協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和2年、2020年が穏やかな中、スタートしました。

昨年5月に年号が改められ「令和」となり、初めての年初め。「令和」の「令」には、「よい」という意味が込められているので、きっと、「よい年」「平和な年」となるに違いありません。

また、子年は干支の始まりでもあり、未来への大いなる可能性を感じさせます。まして、オリンピックイヤーの今年は、日本全体が躍動的でもあると同時に、「おもてなし」の心でしっとりとした雰囲気もあり、とても楽しみな年でもあります。

いちょうっ子も、この「子年」の象徴のように、「未来への可能性にむけて努力する一年」となれるよう、全教職員で指導してまいります。

今年も、保護者、地域の皆様方には、時には厳しくまた温かく見守ってくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、令和2年：2020年の鴻巣北小学校の合言葉を全児童また保護者の方々より募集したところ、多くの思いや言葉を提案してくれました。その中でも、「万里一空」「点滴穿石」「言行一致」「日進月歩」など、努力していきたいという思いが多数あがりました。

そこで、自分ひとりが努力するのではなく、仲間たちとかかわり合いながら、叱咤激励できる関係を築けるとさらによいのではと考え、「切磋琢磨」を書きぞめの言葉とすることにしました。

この言葉には、

切磋琢磨 仲間同士、互いに磨き高める心

- 1 学習も人徳も、磨き上げて高めていく。
- 2 仲間たちとともに、励まし合ったり支え合ったりしながら、取り組む。
- 3 あきらめないで、自分のできるところまで全力をつくす。



という意味を込めました。

「新年」は、願いや決意が強いときです。御家庭でも子どもたちの決意を大切に、見守っていただきたいと思います。小さいときからの「～なりたい。」「～するぞ。」という思いは、とても大切です。また、それを一番に応援してくれる御家庭の力も重要です。「いつも言葉ばかり!」「何度いってもやらない。」と、叱ることよりも、できることを増やして褒めていきましょう。

本日の始業式でも、児童一人ひとりの書きぞめを目にすることができました。自分で立てた目標に取り組み、見えないけれど感じる自分の心に正直に行動し、心身もにたくましくなっていけるいちょうっ子に期待します。

今年度も残すところ3か月となりました。各学年の教育活動のまとめをしっかりと行い、進学進級への期待を抱かせるとともに、児童一人ひとりの進歩発展を図ってまいります。

